

第13回 上田高校理科系班OB会参加報告

原田義則（65期）

年に1回の恒例となった上田高校理科系班OB会が8月27日（日）午後5時から秋葉原の「えん」で開かれました。

初めて参加された坂本壮一郎さん（58期）、窪田美さん（64期）もいらっしやったのですが、丸山暎一さん（51期）、堀内忠久さん（53期）、大井秀三郎さん（58期）、高橋福幸さん（58期）、矢嶋瑞夫さん（58期）、萩原清人さん（59期）、石井則男さん（64期）、丸山幸雄君（65期）と昨年から参加している私の2名の参加で、総勢11名と例年より些か寂しくなって仕舞いました。

会食に先立ち、今回は私が「健康モニタリング（ヘルスケア・デバイス）に関連する最近の話題」題した小講演を実施しました。超高齢化社会の到来、在宅医療の一般化、健康寿命への関心の高まり等の社会の動きに沿うように「いつでも、どこでも、誰でも、痛み無し（無侵襲）で、健康状態をモニタリングできる装置（システム）」の開発が進んでいますので、簡単に纏めて見ました。

OB会は毎年8月の最終日曜日に開催しています。メンバーの高齢化が進み、今回は65期の二人（丸山、原田）が「若手」と言う状況ですが、これを何とか打開したいというのが高橋会長、矢嶋幹事の意向です。高校時代には理科系班に在籍していませんでした私も長年理系の仕事をしているということで出席しています。また理科系班出身でも日銀に就職された方もいらっしやいます。実に様々な経歴をお持ちの方も多く、世代や業種を越えた新しいヒューマンネットワークの構築が可能かもしれません。また、女性同窓生の参加を歓迎します。是非、同期や身近の同窓の方々とお誘い合せの上ご参加ください。

